

# 5 ICT都市ふちゅうの実現

◇Society5.0を見据え、さまざまな分野でのICTなどの未来技術の導入を目指します

一部  
新規

## 5-① 市民サービスの向上～DX～

予算額 9,852万円

市民の行政情報のアクセシビリティの向上と各種システムの導入を促進することで、庁内業務の事務効率の向上を図るとともに、市民サービスの向上を図ります。

### ●デジタル窓口・市役所庁舎窓口整備

市役所窓口でタッチパネルによる申請を可能とすることで、複数の申請に共通する氏名・住所などの基本情報を各手続き間でデータ連携させ、「書かない窓口」を実現し、待ち時間の少ない窓口を目指します。

### ●地理情報システム（GIS）整備

地理情報を統一システム化することにより、庁内の情報共有の強化・管理精度の向上を図るとともに、市民が都市計画用途地域図やハザードマップなどの情報をインターネットまたは窓口で簡便適切に取得できるサービスを提供します。

### ●町内会活動支援アプリ導入

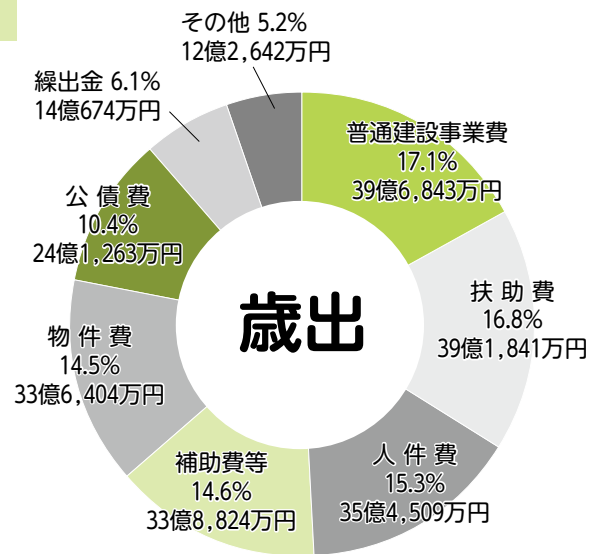
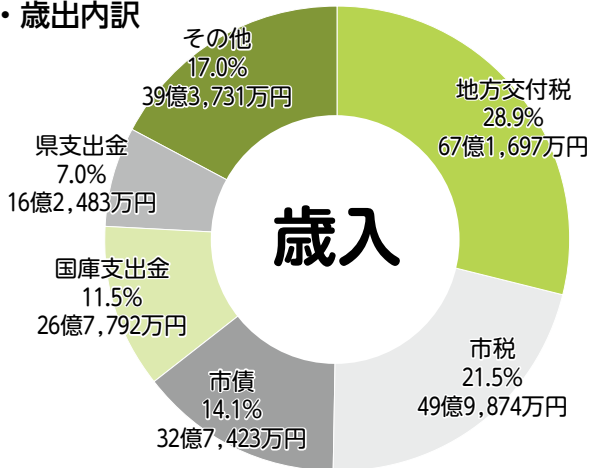
町内会での住民間および行政・住民間の情報共有を可能とするモバイルアプリを導入し、電子回覧板や総会などの出欠確認などに活用していきます。

## 令和5年度予算

一般会計予算総額

232億3,000万円（対前年比 14億5,000万円増）

### 歳入・歳出内訳



### 市民一人当たりの予算

福祉サービスなどに 199,600円	保健・医療やごみ処理などに 89,000円	道路や市街地の整備などに 77,500円	借入金の返済に 66,100円
コミュニティの推進・ 防災対策などに 65,400円	教育の充実などに 56,600円	商工業・産業振興などに 31,900円	消防などに 21,300円
農林水産の振興などに 14,100円	その他 15,200円	一人当たり 約636,700円 ※2月1日時点の人口36,485人で計算しています。 100円未満は四捨五入。	